

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

湖水伝説を調べよう！

甲府ぼん地とそのまわりの地いきには、昔から「湖水伝説」とよばれる言い伝えが残されています。
どんなお話か、博物館のタッチパネルで調べてみましょう。



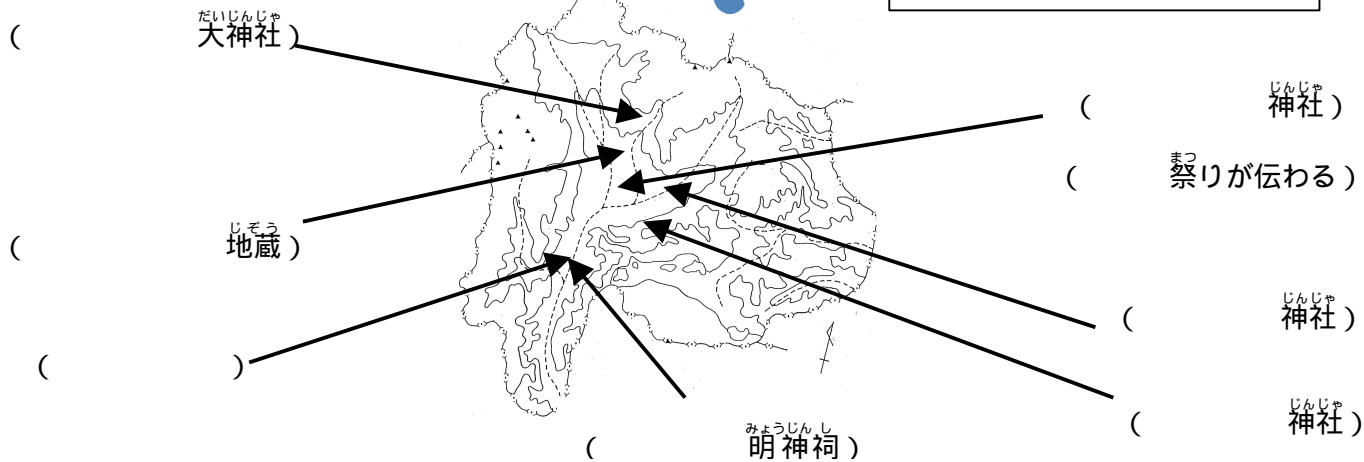
1 湖水伝説クイズ

- ・むかし、甲府ぼん地は一面何だったでしょうか？ ()
- ・穴をあけた神様の名前は？ ()
- ・山をけやぶった神様の名前は？ ()
- ・水がながれたあとは、どんな土地になったでしょうか？ ()

2 湖水伝説マップをつくろう



モニターの『戻る』を何回かおすと、『湖水伝説』が出てくるよ。



3 湖水伝説を調べておもしろかったこと・不思議に思ったこと・考えたことなど感想を書こう。

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

湖水伝説を調べよう！

甲府ぼん地とその^{まわ}りの^{のこ}地のいきには、昔から「湖水伝説」とよばれる言い伝えが残されています。

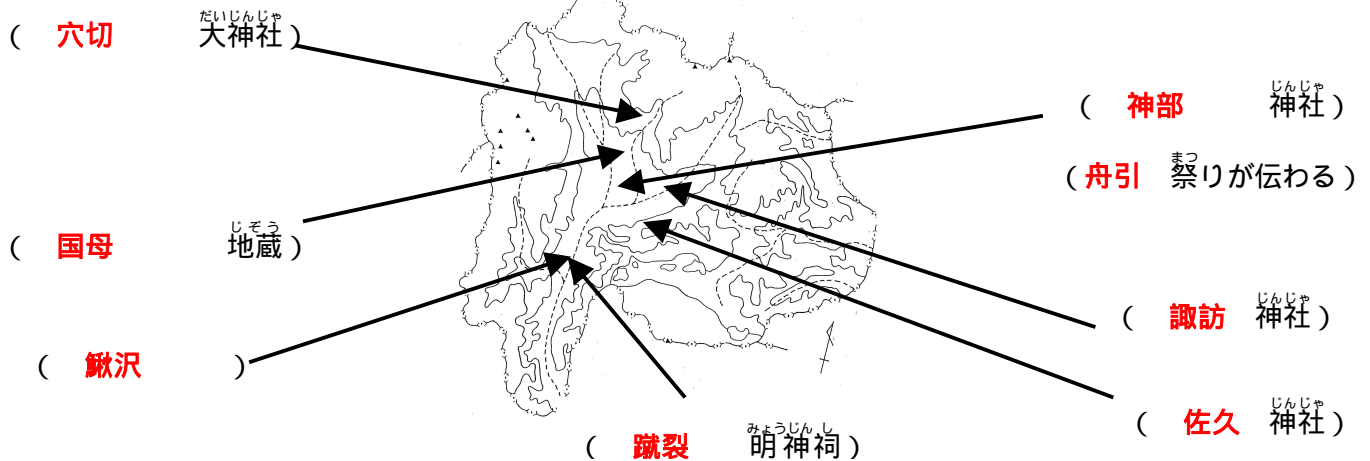
どんなお話か、博物館のタッチパネルで調べてみましょう。



1 湖水伝説クイズ

- ・むかし、甲府ぼん地は一面何だったでしょうか？ (湖)
- ・穴をあけた神様の名前は？ (穴切明神)
- ・山をけやぶった神様の名前は？ (蹴裂明神)
- ・水がながれたあとは、どんな土地になったでしょうか？ (広い田畑)

2 湖水伝説マップをつくろう



3 湖水伝説を調べておもしろかったこと・不思議に思ったこと・考えたことなど感想を書こう。

観覧日：かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

水に取り組むコーナーを観察しよう！

「曇^{くも}って三寸（曇るだけで三寸の水があふれる）」「月夜だけで灼^やける（月の光でも地面が干^ひ上がってしまう）」。今に伝わるこの二つの言葉が、山梨の水と人との長い歴史を物語っています。洪水と干ばつ。山梨の歴史は、この背中合わせの水の災害とともにありました。

『この水に取り組む』コーナーを観察して、今も続く水の祭りや昔から人々がいかに強く水の恵みを望んでいたか調べてみましょう。



1 展示をよく観察しよう

水の神をまつる

・この土器に何という文字が書かれているでしょう。（ ）

洪水から堤を守る

・「水神」と記されている小石を投げ、どんなことが起こらないことを祈るのでしょうか。（ ）

けがれを水に流す

・人形（ひとがた）をどのように使ってお祈りしたのでしょうか。（ ）

天に雨を祈る

・雨ごい仏像は、どうすればどうするほど、願いがかなうと考えられたのでしょうか。（ ）

2 測量器を調べよう

測量器をスケッチしよう	いつごろ、どのような目的で使われたか

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

水に取り組むコーナーを観察しよう！

「曇^{くも}って三寸（曇るだけで三寸の水があふれる）」、「月夜^やだけで灼ける（月の光でも地面が干^ひ上がってしまう）」。今に伝わるこの二つの言葉が、山梨の水と人との長い歴史を物語っています。洪水と干ばつ。山梨の歴史は、この背中合わせの水の災害とともにありました。

『この水に取り組む』コーナーを観察して、今も続く水の祭りや昔から人々がいかに強く水の恵みを望んでいたか調べてみましょう。



1 展示をよく観察しよう

水の神をまつる

・この土器に何という文字が書かれているでしょう。（ **水神** ）

洪水から堤を守る

・「水神」と記されている小石を投げ、どんなことが起こらないことを祈るのでしょうか。（ **洪水，堤防の決壊** ）

けがれを水に流す

・人形（ひとがた）をどのように使ってお祈りしたのでしょうか。（ **わざわいなどを水に流す** ）

天に雨を祈る

・雨ごい仏像は、どうすればどうするほど、願いがかなうと考えられたでしょうか。（ **いじめれば，いじめるほど** ）

2 測量器を調べよう

測量器をスケッチしよう	いつごろ、どのような目的で使われたか
	浅尾新田村の窪田幸左衛門(1771 -1855)が土木工事に用いていた測量器。持ち運びやすいように、簡単に分解・組み立てができる。朝穂堰、新倉掘抜、甲府城下の上水など、甲斐の国内の主たる堰・用水路はもとより、他国の工事についても、測量を行った。

観覧日：かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

水に取り組む(水と戦う甲斐の歴史)

湖水伝説・・・昔、甲府盆地は湖であった。湖水の水を取り除いて陸地にしたら、人が住め、よい田もできると考えた二人の神がそれを実行した。一人の神様が強弓で山を射抜き、もう一人の神様が足で蹴ったので、湖水の水は駿河の海へ引いていった。



湖水伝説に関係する神社や寺、祭りや舞いを博物館から探そう。

ヒント：モニター

水と戦う・・・高く急峻な山々に四方を囲まれた甲斐の国では、雨が山腹を流れ下り、多量の土砂を堆積させ、扇状地を作り出した。砂混じりの扇状地の土壌は水を地下に浸透させてしまう。そのため扇状地の中央部はしばしば干ばつに見舞われ、下流ではたびたび大きな水害に見舞われてきた。



今に伝わる水に関わる二つの言葉を()の文を参考に「 」に入れましょう。

下流・・・(曇るだけで洪水に見舞われる) 「 」

中流・・・(月の光だけで地面が干上がる) 「 」

水を制する・・・「この国を領するや、治水を持って国政の大本となす」後世、信玄の治世はこう称えられた。昔から数多くの水害に悩まされた甲斐国では治水・利水技術が発達し、後に甲州流治水技術と呼ばれるようになり、江戸時代には各地の土木工事で活用された。



信玄堤に代表される甲州流治水技術にはどんなものがありますか。博物館で見つけよう。

ヒント：床に映し出される映像

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

水に取り組む(水と戦う甲斐の歴史)

湖水伝説・・・昔、甲府盆地は湖であった。湖水の水を取り除いて陸地にしたら、人が住め、よい田もできると考えた二人の神がそれを実行した。一人の神様が強弓で山を射抜き、もう一人の神様が足で蹴ったので、湖水の水は駿河の海へ引いていった。



湖水伝説に関係する神社・仏閣、祭りを博物館から探そう。

蹴裂明神 佐久神社 穴切明神 穴切大神社
神部神社 国母地蔵 諏訪神社 天津司の舞

水と戦う・・・高く急峻な山々に四方を囲まれた甲斐の国では、雨が山腹を流れ下り、多量の土砂を堆積させ、扇状地を作り出した。砂混じりの扇状地の土壌は水を地下に浸透させてしまう。そのため扇状地の中央部はしばしば干ばつに見舞われ、下流ではたびたび大きな水害に見舞われてきた。



今に伝わる水に関わる二つの言葉を()の文を参考に「 」に入れましょう。

下流・・・(曇るだけで洪水に見舞われる) 「 曇 っ て 三 寸 」

中流・・・(月の光だけで地面が干上がる) 「 月夜だけで灼ける原七郷 」

水を制する・・・「この国を領するや、治水を持って国政の大本となす」後世、信玄の治世はこう称えられた。昔から数多くの水害に悩まされた甲斐国では治水・利水技術が発達し、後に甲州流治水技術と呼ばれるようになり、江戸時代には各地の土木工事で活用された。



信玄堤に代表される甲州流治水技術にはどんなものがありますか。博物館で見つけよう。

石積出し 将棋頭 堀切 聖牛

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

水に取り組む(水と戦う甲斐の歴史) 2

水への祈り・・・人の力だけでは防ぎ難い水の災害に対し、人々はまず祈りを捧げることでそれを鎮めようとした。水を鎮めるため、また水の恵みにより作物の豊かな実りがもたらされるよう、人々は様々なやり方で水に祈ってきた。

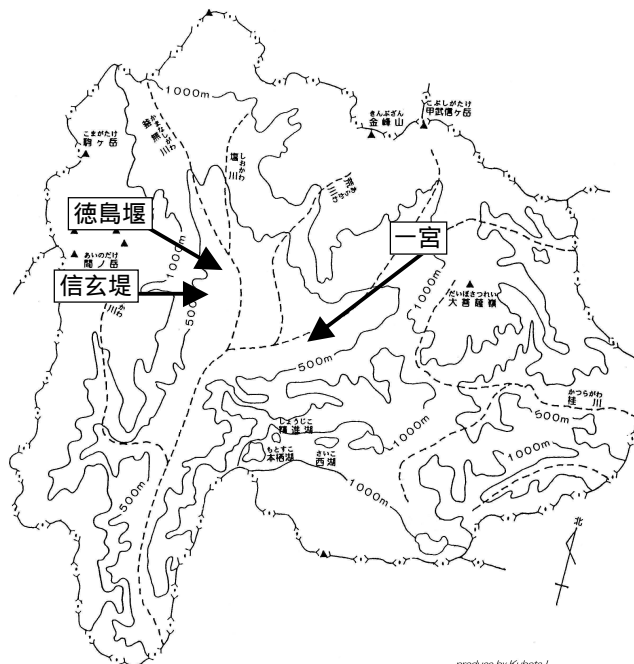


水への祈りを捧げる祭りにはどんなものがあるでしょうか。博物館から探そう。

水を利する・・・江戸時代、豊かな実りを求める人々は、水不足に悩む台地に水を引くことを考えた。甲斐の国北部の地では堰(用水路)の開削を、富士北麓の地では湖の水を利用するため山の掘り抜き(トンネル)をつくり、水不足に悩まされていた台地に大きな潤いと恵みをもたらした。



徳島堰に代表される堰の完成で周辺にはどんな恵みがもたらされたでしょうか。



観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

水に取り組む(水と戦う甲斐の歴史) 2

水への祈り・・・人の力だけでは防ぎ難い水の災害に対し、人々はまず祈りを捧げることでそれを鎮めようとした。水を鎮めるため、また水の恵みにより作物の豊かな実りがもたらされるよう、人々は様々なやり方で水に祈ってきた。



水への祈りを捧げる祭り、展示物にはどんなものがあるでしょうか。博物館から探そう。

天津司舞 御幸祭(一宮神社) 投石神事(川除けの石) 石尊祭(御坂町天神社) 藁束雨乞いの仏像(清水寺) 水神墨書土器(忍野村)

水を利する・・・江戸時代、豊かな実りを求める人々は、水不足に悩む台地に水を引くことを考えた。甲斐の国北部の地では堰(用水路)の開削を、富士北麓の地では湖の水を利用するため山の掘り抜き(トンネル)をつくり、水不足に悩まされていた台地に大きな潤いと恵みをもたらした。



徳島堰に代表される堰の完成で周辺にはどんな恵みがもたらされたでしょうか。

徳島堰の完成によって500ha(県立博物館の76倍)もの田畑に水が行き渡った。その他、多くの堰が完成することによって江戸時代の後期には年貢収入が大幅にアップした。

